

(配偶者の不倫相手に慰謝料請求する内容証明の記載例)

平成 年 月 日

〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇殿

〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇 印

通 知 書 (請 求 書)

冠 省 貴殿は、昨年4月初旬頃から私の妻と度々、密会を繰り返して、不倫の関係を続けていることが興信所の調査で判明しました。このため、平穏で円満な夫婦関係の維持が困難となっております。

よって、今後、私の妻と会うことのないよう強く要求すると共に、貴殿の不貞行為により精神的苦痛を受けたことに関して、慰謝料金 300 万円を請求します。

平成 18 年 12 月 20 日迄に以下の口座に振込送金願います。振込先〇〇銀行〇〇支店普通口座 123456
名義〇〇〇〇

もし、この要求に応じない場合は、法的な措置を講ずる準備がありますので、その旨ご承知おき下さい。

以上

● ポイント→不倫の事実を出来るだけ具体化する。交際を中止することと慰謝料請求を同時に要求し、その期日を指定する。配達証明付内容証明は、郵便物が配達された後、郵便局から何月何日にそれを配達したことを記した葉書（配達証明）が送られてきます。郵便局窓口で「配達証明にして欲しい」と言えば、その取扱をしてくれます。配達証明は相手方が郵便物を受領した確実な証拠（確定日付）になります。

(配偶者の不倫相手に交際中止を求める内容証明の記載例)

平成 年 月 日

〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇殿

〇〇県〇〇市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇 印

通 知 書

私は、〇〇一郎の妻です。最近夫の帰宅が遅くなることが多くなり、不審に思い興信所に調査を依頼した結果、貴殿と夫が平成17年8月頃より交際を始め、二人でホテルに頻繁に出入りしていることが判明しました。

私は、夫と結婚し3年になり、幼い子供もいます。今後も離婚する意思はありません。よって、貴殿に対し、夫との交際を即刻中止するよう要求いたします。

万一、本書面到達後も貴殿が夫との交際を続ける場合には妻としての地位を侵害する行為として、損害賠償を請求することを念のために申し添えます。

以上

●ポイント→ 内容証明は後日の証拠になります。不貞の事実をできるだけ、具体的に記載した方がベターです。

一枚に記載する文字数は520文字以内に制限され（句読点も字数に算入）

ます。縦書きの場合、一行20文字×26行以内、横書きの場合、一行13文字×40行以内、又は、1行26文字×20行以内で作成することが郵便規則で定められています。郵便局へ提出する際には、同一文書を3通と差出人・受取人の住所・氏名を書いた封筒を持参して下さい。住所・氏名は、内容証明の文書記載のものと同じである必要があります。